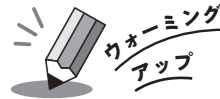


使用教材：地図帳『新詳高等地図』



地図帳を活用し、特徴のある地形を見つけよう。

問1 (1) カルデラ

①カルデラはどのようにして出来上がるか、次の中から選び、○を付けよう。

河川の働き 火山の働き 波の働き 氷河の働き

②カルデラの特徴を述べているものを、次のア～エから一つ選ぼう。

- ア. U字谷の最上部に出来るすり鉢状のくぼみ
- イ. 火山の爆発や噴火により出来た大きなくぼ地
- ウ. 洪水時、水と一緒にあふれ出た土砂が堆積してできる微高地
- エ. 砂州によって湾や入り江が塞がった浅い湖や沼

③北海道地方にある有珠山、九州地方にある阿蘇山を『新詳高等地図』の中で探し、印を付けよう。

④カルデラに水がたまると、カルデラ湖となります。『新詳高等地図』p.135～136で見られる洞爺湖、屈斜路湖、摩周湖を地図の中で探し、印を付けよう。

⑤北海道地方で見たカルデラ湖の形を参考にして、『新詳高等地図』p.131の青森県・秋田県境で見られるカルデラ湖を探してみよう。

[Blank box for drawing]

(2) 海岸で見られるさまざまな地形

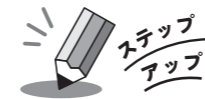
①次のア～エの特徴を持つ海岸の地形を、語群の中から選ぼう。

- ア. 砂州が発達して陸続きとなった島
- イ. 多くの島々が浮かぶ海域
- ウ. 平坦な海底が海面上に現れた平野
- エ. 複雑に入り組み、屈曲した海岸線

語群 トンボロ（陸繋砂州） 干潟 海岸平野 リアス海岸  
多島海 陸繋島 氾濫原

② ①のア～エの地形を、『新詳高等地図』の次のページの中で探してみよう。

- ア. 砂州が発達して陸続きとなった島 日本p.118、127
- イ. 多くの島々が浮かぶ海域 世界p.58 日本p.115～116
- ウ. 平坦な海底が海面上に現れた平野 世界p.80 日本p.126
- エ. 複雑に入り組み、屈曲した海岸線 世界p.55 日本p.131～132



地形と人々の生活との関わりについて、河川の作る地形を例に、考えてみよう。

問2

①『新詳高等地図』p.124で、「甲府盆地」と「勝沼」に○印を付け、山梨県の東部や西部の山地・山脈を語群から選ぼう。

東部 [ ] 西部 [ ]

語群 飛驒山脈 木曾山脈 赤石山脈 越後山脈 関東山地

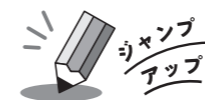
②甲府盆地に見られる扇状地はどのような場所に出来るか、『新詳高等地図』p.138「② 扇状地－甲府盆地」を見て考えよう。

[Blank box for drawing]

③『新詳高等地図』p.138の扇状地の地形図の中で多く見られる土地利用について、次の中から選ぼう。

- ア.
- イ.
- ウ.
- エ.

④ ③のような土地利用となる理由について、次の文章の（ ）の中で、適する語句を選ぼう。  
扇状地は扇頂・扇央・扇端の3つの部分に分かれるが、扇央の地域は河川が（ 蛇行 ・ 伏流 ）するため水はけがよく、畑や果樹園の利用が多い。地下水が湧き出る扇端では、（ 水無川 ・ 水田 ・ 谷口集落 ）が見られる。山梨県では（ ぶどう ・ りんご ・ みかん ）の栽培が盛んである。



地図帳を使って、大地形の特徴をつかもう。 p.31～32「① 南アジア」、p.193～194「⑤ プレートテクトニクス」

問3

①『新詳高等地図』p.31～32で、ヒマラヤ山脈に○印を付け、世界で最も高い山の標高を確認しよう。

[ ] m

②『新詳高等地図』p.194「③ 大陸の移動と現在のプレートの分布」を見て、インド半島はどこにあったと考えられるか、①～④のそれぞれに印を付けよう。

③『新詳高等地図』p.193～194「⑤ プレートテクトニクス」を見て、ヒマラヤ山脈の形成に関わりのあるプレートを2つ挙げ、プレート境界の種類を答えよう。

[ ] プレート [ ] プレート  
[ ] 境界

④『新詳高等地図』p.31「読図」のように、ヒマラヤ山脈の東部で山と川が交互に並ぶ理由を考えてみよう。

[Blank box for drawing]

